

## 第5学年3組 図画工作科学習指導案

平成27年11月19日(木) 第5・6校時  
 指導者 男子17名 女子15名 計32名  
 場所 体育館2階運動スペース  
 指導者 教諭 矢嶋 梨恵

### 1 題材名 「光の魔術師」

### 2 題材について

#### (1) 児童の実態

本学級の児童は、高学年としての活動や様々な行事を経験しながら自主性や協調性を身に付けてきている。低学年の児童を思いやって活動したり、自分たちの目標に向かって努力を続けようとしたりする姿も多く見られる。図画工作の学習では、友だちと交流したり作品を見せ合ったりしながら意欲的に取り組む児童が多い。活動の中で、どうすれば作品がよりよくなるのか教師に熱心に聞きにきたり、身近にある材料や新たに知った用具を使ってみようと工夫を凝らしたりする様子も見られる。児童の図画工作に対する意識を把握するために、アンケートを行った。結果と考察は以下のとおりである。

アンケート			
1 図工の授業は好きですか。(理由は自由記述)			
好き 23名	どちらかというとき好き 8名	どちらかというとき嫌い 0名	嫌い 1名
・ 作ることが好きだから 12名 ・ 楽しいから 9名 ・ 絵を描くことが好きだから 6名 ・ いろいろなことができるから 4名 ・ 自分が思ったようにできるから 3名 ・ 他では使えない道具を使えるから 2名		・ つくることが苦手だから 1名	
2 図工の授業の中で何が好きですか。(複数回答可)			
・ 絵を描くこと 26名 ・ みんなで作品を作ること 22名 ・ 粘土でつくること 17名 ・ その他…ローラー遊び(6名)、絵の具を使ったにじみ(3名)、 イメージすること(2名)		・ 木を使って作ること 24名 ・ 身の回りのものを使って工作すること 20名 ・ 版画 16名 ・ クレヨンを使ったぼかし(2名)、コンテ(1名)	

アンケートの結果から、図画工作の授業に興味・関心を持って取り組んでいる児童が多いことが分かる。好きな理由として、作品をつくることや道具にふれることの楽しさが多く挙げられた。同じテーマで作品をつくる際にも自分の思いによっていろいろな描画材料を選べるのが楽しさにつながっているようである。作品について想像することを好んでいる児童や、自分の思いを表現することを楽しんでいる児童もいることから、発想をして作品の世界を広げることや、自分の世界観を表現することにも関心をもっていることがわかる。活動の内容についても、様々なものを好んで行っているようである。しかし、児童の中には作品をつくることに対して、苦手意識をもってしまっている児童もいる。

そこで、LEDライトやプロジェクターなどの光源を使い、いろいろな材料を通して生まれる光の形や色、効果を試すことを通して、造形あそびをする楽しさを味わわせたい。児童はこれまでの学習で、校庭にある植物から形や色、場所の様子の変化などをとらえて表現することや、落ち葉などの材料を使って空間を変えていくことの楽しさについて学んできた。その経験から、本題材でも自分たちの発想で光の世界が広がっていくことや雰囲気が変わっていくことを楽しむことができるだろう。また、友達と思いを伝え合いながら活動することで、個々につくり上げていく活動とは異なる楽しさが生まれ、関心をもって取り組むことができるのではないかと考える。

#### (2) 本題材を指導するに当たって

本題材は、いろいろな材料に光を通して生まれる形や色を基に、光を当てた時の効果を試し、工夫して場所の雰囲気をを変えることを楽しむものである。自然の光による色や形の美しさは低学年でも経験しているが、人工の光を使った活動は児童にとって初めてである。本題材では光の美しさを知り、光が作り出す形や色などの効果や場所の様子の変化、動きなどを知り、身近な材料を生かして空間を演出する経験がで

きるようにしたい。

そのため、授業時間以外にも児童が光の性質や魅力について気付くことができるように、教室に光を試す場を設定する。LEDライトやペンライト、光を通す材料などを展示し児童がそれらの材料を試すことができるようにすることで、改めて光の効果や映し出される形や色について関心をもつことができるようにする。授業では児童が集めた材料や新たな光源を用意して、光と材料の組み合わせによって表現の可能性が広がることを伝え、児童の活動が深まるようにする。

また、児童一人一人がのびのびと活動できるように、広い場の設定と光源の数の確保をする。机などのない場を使うことでより広く大きな光を使うことができ、光を当てる角度や距離を選びながら活動を広げていくことができると考える。そして様々な光の効果を何度も試す中で、試しながら構想を練り、構想したことをさらに試していくことができるだろう。児童が材料や場所にかかわり合う時間を十分にとり、自分たちの力で場所の様子を変えていく喜びを味わえるようにする。

### 3 学習指導要領上の位置付け

A表現 (1) 材料や場所などの特徴を基に造形遊びをする活動を通して、次の事項を指導する。

- ア 材料や場所などの特徴を基に発想し想像力を働かせてつくること。
- イ 材料や場所などに進んでかかわり合い、それらを基に構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながらつくること。
- ウ 前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしてつくること。

B鑑賞 (1) 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。

- ア 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じ取ること。
- イ 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえること。

〔共通事項〕 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

- ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。
- イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

### 4 目標及び評価規準

(1) 目標 いろいろな材料に光を通して生まれる形や色を基に、光を当てた際の効果を試し、工夫して場所の雰囲気を変える。

(2) 本題材における〔共通事項〕

- ア 光や光が材料を透過したときに映し出される色や形、変化する動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえる。
- イ 光や光が材料を透過してできる形や色などの造形的な特徴を基に、自分の活動のイメージをもつ。

(3) 本題材における評価規準

◆「努力を要する」と判断される状況 (C) 児童への支援

※アンダーラインは〔共通事項〕に関連した内容を示す

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<u>光の形や色を生かし、自分なりの思いをもつて場所の雰囲気を変える活動に取り組もうとしている。</u>	場所との関係を考えて、 <u>投影される光の形や色などの特徴を基に美しく見える方法を考えている。</u>	<u>材料や場所の特徴を生かして、組み合わせや並べ方を工夫して表している。</u>	互いの表し方や光がつくり出す空間の美しさに気付いている。
◆手が止まり、活動が滞っている児童には、できそうなことを一緒に考え、意欲を引き出して楽しんで活動できるようにする。	◆光を当てることから場所の雰囲気を変える活動に広げられていない児童には周りをどんな感じに変えてみたいか対話をし、イメージをもつことができるようにする。	◆活動が手元だけになってしまっている児童には、その活動のよさを称賛し、場所の特徴を一緒に考えて場所の様子を変化させるアイデアを出せるようにする。	◆自分の思いを表現できない児童には、できたものから受ける印象などについて対話し、そのよさを考えられるようにする。

5 指導と評価の計画（3時間扱い）

学習活動	関	発	創	鑑	評価方法
1 題材について知り、光の当て方によって美しく変化する透過光や影の美しさに気付く。	○				関 行動観察、対話、表情
2 ・いろいろな材料に光を当てて、光の効果を試す。 ・光の効果を生かしながら、場所の雰囲気を変える方法を考える。	○	○			関 行動観察、対話、表情 発 行動観察、対話、表現
3 ・材料と光、場所の特徴を組み合わせながら場所の様子を変化させる。 ・できたものを鑑賞し合い、材料や光源の違いで変化する光や空間の美しさについて話し合う。	○	○	○	○	発 行動観察、対話、表現 創 行動観察、表現 関 行動観察、対話、表情 鑑 行動観察、発言、表情、対話

6 本時の学習指導（本時 第2・3/3時）

(1) 目標

- 光の形や色を生かし、自分なりの思いをもって場所の雰囲気を変える活動に取り組む。(造形の関心・意欲・態度) 関
- 場所との関係を考えて、投影される光の形や色などの特徴を基に美しく見える方法を考える。(発想や構想の能力) 発
- 材料や場所の特徴を生かして、組み合わせや並べ方を工夫して表す。(創造的な技能) 創
- 互いの表し方や光がつくり出す空間の美しさに気付く。(鑑賞の能力) 鑑

(2) 準備

- 教師：懐中電灯、ペンライト、LEDライト、プロジェクター、鏡、色セロハン、トレーシングペーパー、ビー玉、透明容器、ビニール傘、布、延長コード、暗幕、デジタルカメラ
- 児童：懐中電灯など家庭にある光源、はさみ、セロハンテープ、透明容器

(3) 展開

過程時間	学習活動 予想される児童の具体的な姿（「」）	指導の工夫 （〔共〕：〔共通事項〕に係る内容）	評価と手立て 観点：評価規準、【評価方法等】 ◎：十分満足できる状況 ◆：C判断児童への手立て	準備
導入 10分	<p>提案1 光の魔術師になろう！</p> <p>1 教師の提案を聞き、前時の活動を想起しながら本時の活動のおおよその見通しをもつ。</p>			活動例 LEDライト 段ボール箱
展開 70分	<p>2 いろいろな材料に光を当てて、光の効果を試す。 「光の色がちよっと違うね。」 「持ってきた材料に</p>	<p>○前時までに光の効果を感じられる活動を行うとともに強い光を発する光源は直接見ないこと、光源によっては熱をもつものもあるので直接接触ったり密封したりしないようにすることを注意する。本時においても、光源についての確認と安全指導を行う。</p> <p>○児童が光の効果を試すことができるように、事前に教室内に光や材料にふれられるコーナーを設置する。</p> <p>○児童の関心を高められるように、暗くできるように作った箱とLEDライトを使った効果を示す。</p>	<p>関 光の形や色を生かし、自分なりの思いをもって場所の雰囲気を変える活動に取り組もうとしている。 【行動観察・対話・表情】</p>	懐中電灯 ペンライト LEDライト プロジェクター 鏡 色セロハン

光を当ててみたらどうなるかな。」  
「色を変えたいからセロハンを使ってみよう。」

3 光の効果を生かしながら、場所の雰囲気を考える方法を考えてみる。  
「もう少し光を遠ざけてみよう。」  
「色のついた光を当てたら雰囲気が変わった。」  
「もっと光をたくさん当ててみたらどうなるかやってみよう。」

- 様々な光源で異なる光の形や色、イメージを感じられるように光源の数を確保する。
- 自分の思いを大切にしながら、楽しんで活動を進められるように助言する。
- 材料への光の当て方によって美しく変化する透過光や影の美しさに気付けるように声かけをする。
- 自分のイメージに合った光源と材料を組み合わせながら、場所の様子を変えていくことができるよう声かけをする。
- 児童の思いに寄り添いながら、材料の使い方を提案したりいろいろな方法を試すように助言をしたりする。
- 活動途中で友達と表現を交流し合えるような場を設定し、発想を広げられるようにする。

- ◎：投影される形や色を生かし、自分なりの思いをもって、友達と協力しながら場所の雰囲気を換えようと取り組んでいる。
- ◆：手が止まり、活動が滞っている児童には、できそうなことを一緒に考え、意欲を引き出して楽しんで活動できるようにする。
- 発 場所との関係を考えて、投影される光の形や色などの特徴を基に美しく見える方法を考えている。
- 【行動観察・対話・表現】
- ◎：場所との関係を考えて投影される光が美しく見える方法をいくつも試しより美しく見える方法を考えている。
- ◆：光を当てることから場所の雰囲気を考える活動に広げられていない児童には周りをどんな感じに変えてみたいか対話をし、イメージをもつことができるようにする。

提案2 光の魔法を使ってこの場所を変えよう！

4 材料と光、場所の特徴を組み合わせながら場所の様子を変化させる。  
「天井に光を当ててみよう。」  
「壁一面、青い光を当てると、夜空みたいだ。」  
「材料の隙間からもれる光の模様を合わせてみよう。」

- 何もしていない活動の場の写真を提示し、場所全体の様子を変化させることができるよう促す。
- いろいろな材料を通して生まれる光の形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもって場所の様子を変化させることができるように、材料や方法について支援をする。〔共〕
- 一人での活動、グループでの活動の両方が考えられる。様子を見ながらそれぞれが活動しやすく、自分の表したいことが表せるように支援する。
- 場所や材料の特徴をとらえて、場所の様子を大きく変化させている活動を称賛し活動の意欲を高めるとともに、他の児童へ活動のよさが広がるようにする。
- 児童の活動でできたものを撮影し、後で鑑賞できるようにする。

- 創 材料や場所の特徴を生かして、組み合わせや並べ方を工夫して表している。
- 【行動観察・表現】
- ◎：投影される光の美しさを生かし場所との関係を考えて材料の組み合わせ方や並べ方、置き方、光の当て方などの工夫を重ねている。
- ◆：活動が手元だけになってしまっている児童には、その活動のよさを称賛し、場所の特徴を一緒に考えて場所の様子を変化させるアイデアを出せるようにする。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>提案3 友達の光の魔法を見てみよう！</b> </div>			
5	<p>できたものを鑑賞し合い、材料や光源の違いで変化する光や空間の美しさについて話し合う。</p>	<p>○2つのグループに分け、一方が活動している時にもう一方のグループが鑑賞できるようにし、光の動きによる変化も見ることができるようにする。</p> <p>○<u>形、色、イメージのよさや美しさ</u>について考えるよう伝える。〔共〕</p> <p>○2つのグループの鑑賞が終わったら、全体で話し合い、活動のよさを共感できるようにする。</p> <p>○可能であれば、撮影した画像を見せる。</p>	<p><b>鑑</b>互いの表し方や光がつくり出す空間の美しさに気付いている。</p> <p>【行動観察・発言・表情・対話】</p> <p>◎：できたものを友達と見合い、材料や光源の違いで変化する光や空間の美しさに気づき、自分の考えを伝えている。</p> <p>◆：自分の思いを表現できない児童には、できたものから受ける印象などについて対話し、そのよさを考えられるようにする。</p>
整理 10分	5	<p>本時の活動を振り返り、自分の学習状況や活動のよさを確認し、後片付けを行う。</p> <p>○個々の活動のよさを称賛する。</p> <p>○イメージを具体化していくことは大切であるが、活動が終わった後はそれらを元に戻すということも大切であることを確認し、片づけを徹底させる。</p>	

## 7 板書計画

### 光の魔術師

光の魔術師になろう！

光をつくるポイント

光の当て方

注意すること

うつす場所

かげ

光の魔法を使ってこの場所を変えよう！

天井の写真

壁の写真

床の写真

友達の光の魔法を見てみよう！

見るときのポイント

色      形      イメージ

8 場の設定

※暗幕を使い活動の場を暗くする。

班ごとに、ある程度の活動の場を決める。

